

きざはし

校訓 心美しき二中生たれ 心強き二中生たれ
ひたちなか市立勝田第二中学校
学校だより 第13号
令和4年3月24日(木)

校庭の桜のつばみも膨らみ始め、本格的な春の到来を感じるようになってきました。月日の経つのは早いもので、本日、令和3年度の修了式を迎えることができました。令和3年度も新型コロナウイルスに大きな影響を受け「コロナと闘う1年」となりました。4月からの学校行事もコロナ感染予防のため、保護者の皆さんの来校制限をしたり、6月の関西方面修学旅行・宿泊学習・校外学習の延期をしたりしました。去年は実施できなかった運動部の総合体育大会は、市内大会から全国大会まで実施することができました。本校では柔道競技と水泳競技で関東大会に出場する活躍をしてくださいました。しかし、吹奏楽部(マーチング)やコーラス部は、コンクール等が規模縮小での開催となったり、余儀なく辞退したりと思うような活動ができなかったのが残念でした。8月下旬からは部活も活動停止となったり、9月1日からオンラインでの授業再開となったりしました。また、27日からは通常登校に向けて分散登校とオンライン授業を併用したハイブリット型での授業も実施しました。9月11日に開催予定をしていた学校の一大イベントの体育祭を断腸の思いで中止としました。10月から通常授業に戻るとともに、それまで延期としていた修学旅行、宿泊学習、校外学習を再企画し実施しました。合唱祭も今年度は、保護者の皆さんにはオンライン配信とし、全校生徒を体育館に集め、各学年の発表を聴くことができました。やっと、全校生徒が参加しての学校行事が実現できました。



生徒たちは、与えられた環境の中でアイデアを出し合い工夫し、前向きに全力でさまざまな活動に取り組んでくださいました。それらの活動を通して、1年生は、心身ともに大きく成長したと強く感じます。また2年生は、「いよいよ自分たちが最高学年!」という自覚を背中に感じるほど頼もしく成長しています。生徒たちは、たくさんの思い出や夢を胸にそれぞれ進級します。この1年間、自分の成長できた面と十分に成長ができなかった面を確認することが大切です。改善できるものは改め、新たな目標を実現するために努力することが更なる成長に結びつくと思います。

年度末は、私たち教師も全ての教育活動を通して、生徒一人一人の個性を伸ばすことや豊かな心を育成すること、学力の定着は図れたかなど、自分の指導方法について反省する機会にしています。ご家庭におかれましても、お子様と一緒にこの1年間を振り返っていただき、新たな学年での目標を明確にしていだければと思います。



最後に、この1年間「きざはし」やホームページを通して、いろいろなことのお知らせしてきました。今日までの学校へのご理解とご協力が心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

校長 高木 克己

1年間を振り返って

高橋 勇翔

僕はこの1年間で特に意識したことが二つあります。

一つ目は部活動です。僕はサッカー部に所属しています。学年が一つ上がって、先輩という立場になり、意識して行動しなければならぬことがたくさん増えました。例えば、先生方には礼儀正しく挨拶をしたり、用具の準備や片付けは素早く協力して行ったりするなど、先輩として正しい姿を見せていかなければならないと思っていました。しかし、後輩の手本となるどころか、自分たちが失敗をしてしまうことも多くありました。新人戦での準優勝という結果は、そんな自分たちの悪いところが出た結果だと思っています。3年生では、先輩方が僕たちを支えてくれたように、今度は自分たちが後輩を支え、サッカー部をもっとより良くしていきたいと思っています。そして、総体では優勝に向けて最後まで努力をしていきたいと思っています。

二つ目は勉強です。僕は「勉強をする」ということが苦手で、家でも自主学習をすることがほとんどありませんでした。前期のテストのときは、テスト期間中、目標も見通しもなく、ただ闇雲に教科書を読んだり、得意分野ばかりを勉強してしまったりすることが多く、ただただやっているだけでした。後期のテストでは、そのような前期の反省を生かして、目標を決めたり、1日の計画を立てて、最低限、勉強ができる時間を考えたり、勉強の習慣化に努めました。その結果、自然に机に向かい、勉強を続けることができるようになりました。毎日少しずつでも勉強を続け、努力を積み重ねていくことが大切であると分かりました。

4月からは3年生になります。部活動の練習も厳しくなり、勉強も難しくなりますが、両立できるように頑張りたいと思います。また、義務教育最終学年として、勝田二中を支えられるように尽くしていきたいと思います。



1年間を振り返って

川上 昞芽

1年前、私たちはこの勝田第二中学校に入学しました。それから長いようで短い時間が流れ、2週間後には2年生になります。そんな1年間の中で、私は印象に残ったこと、頑張ったことがたくさんありました。

1つ目は学習面です。中学生になってからは内容がぐっと難しくなり、量も増えました。それよりも驚いたのがテストでした。範囲は広く、教科も増えました。なかなか順位が上がらず、1年生のテストは悔しい結果に終わりました。2年生になったら、自分の学習方法を見直し、順位も点数も上げていきたいです。

2つ目は部活動です。私は、学校ではなくクラブで水泳をしています。総体や新人戦は勝田二中の一人として出場しています。初めての総体はとても緊張しましたが、多くの人の支えや協力もあり、関東大会に出場することができました。結果は納得のいくものではありませんでしたが、多くのことを学びました。2年生での総体は、関東大会の上位に入れるよう頑張りたいです。

3つ目は委員会活動です。私は前期の学級委員になり、中央委員会に入りました。3分前着席などをクラスに声をかけ、まとめてきました。また、体育祭が中止となったので、学年クラスマッチを開催することになり、どうしたらみんなが楽しめるかを考えました。当日みんなに「楽しかった」と言ってもらえてとてもやりがいを感じ、うれしかったです。

今年は新型コロナウイルスの影響で、さまざまな行事が縮小、延期、中止となりました。数少なかった行事ですが、その分実施された行事には思い出が詰まっています。日光方面への校外学習では、世界遺産の東照宮を目にしたり、東武ワールドスクエアではミニチュアの世界を体験したりして、よい思い出になりました。また合唱祭は、1年の中で唯一全校生徒で行えた行事でした。私のクラスはトップバッターで歌い、とても緊張しましたが、練習の成果が出せたのでよかったです。先輩方のすばらしい歌声も聞くことができ、来年、再来年はこのように歌えたらと思えた行事でした。

2年生になったら、クラスも替わり後輩もできます。そして私自身は生徒会役員としての役割も担います。新しいことがたくさん待っています。そんなたくさんの「新しい」にチャレンジしていけるような1年にしていきたいです。そしてその経験をその先の自分に生かせるように、今年の自分よりもさらに大きく成長できるようにしたいと思います。

